

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5総合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

福岡／北九州空港間の代替機能を強化すべき！ ～グランドハンドリング関連予算の充実とともに要望～

4月19日（水）、航空連合政策議員フォーラムメンバーの城井 崇（きい たかし）衆議院議員が衆議院国土交通委員会で質問に立ち、福岡空港の運用時間制限に関する課題について政府の考えを質すとともに、人材不足に直面しているグランドハンドリング業務に対する国のさらなる支援の必要性について、航空連合の主張をふまえて要望しました。



城井 崇
フォーラム
メンバー（衆）

- ・福岡空港は着陸が夜10時までに制限されており、その結果、航空機の到着が間に合わず、**出発空港に引き返すケースが発生**している。
- ・北九州空港は24時間運用が可能であり、**部品や人材の確保などの課題に対応し、代替空港としての機能を高めるために、国として後押しを**すべき。

- ・**グランドハンドリングの生産性向上に資する国の支援をさらに充実・加速**させ、より**多くの空港へと展開**すべき。

- ・北九州空港の受け入れ態勢を議論するため、**地元で検討会が立ち上げられ、国交省も参加**している。
- ・利用者にとって最も良いかたちになるように、**国としても利用者目線を持って積極的に関与**していきたい。

- ・グランドハンドリング作業のさらなる効率化に向けて**一定の予算を確保**しており、**引き続き支援に取り組んでいく**。



斉藤鉄夫
国土交通大臣